成果の説明書

(氏名)　三富　悠紀	(学部)　経済学部

1　重要事項

【研究関連】

例年に引き続き、下記の 2 点の研究を進めている。

1. 広告などにおける開催期間や残り時間の提示の仕方(1/21~1/24 や残り 2 日など)によって消費者の行動(商品知覚や購買意思決定)に与える影響を明らかにする研究

✓　2023 年 4 月～2026 年 3 月末の期間で科研費(基盤 C)の対象となっている。

2. 筑波大学の佐藤秀典先生、神奈川大学の徐寧教先生との共同研究として、輸出量が拡大し、新興の蒸留所も増えているジャパニーズ・ウイスキーを経営学・マーケティングの視点から分析した研究

今年度は学会発表 2 点、研究論文(査読付き)1 点の成果があげられる。

学会発表

①　日本消費者行動研究学会第 66 回消費者行動研究コンファレンス(2023 年 5 月 13 日・5 月 14 日日本大学商学部)　題目「マーケティングにおける時間圧力の可能性と課題」

②　産業学会第 61 会全国大会(2023 年 6 月 17 日・6 月 18 日西南学院大学)　題目「日本のウイスキー産業における『ジャパニーズ・ウイスキーの自主基準』導入の影響について－消費者の認識とブランド・パーソナリティを用いて－」

研究論文(査読付き)

①　三富悠紀(2023)「マーケティングにおける時間圧力・時間制約研究の可能性と課題」『消費者行動研究』早期公開(DOI:https://doi.org/10.11194/acs.202410.006)
*学会発表①の成果を論文化したものである。

【教育関連】

例年通り前期に「マーケティング入門」、「流通論」「演習Ⅰ」の講義、後期には「マーケティング」、「基礎演習」「演習Ⅰ」の講義を担当した。

演習Ⅰに関しても例年同様に 3 年生のゼミ生がデータ解析コンペティションに参加している。令和 5 年度は日経 POS のデータを使い、予選会にて分析結果を報告した。

【社会における活動】

・高崎健康福祉大学高崎高校　出前授業
・高崎北高校探究活動に関連するインタビュー対応

2　その他の事項

特になし

3　次年度以降の計画・抱負

【研究関連】

科研費を取得した時間の表現(1/21～1/24 や残り 2 日など)に関する研究とウイスキーに関する研究の 2 つの研究について、調査・学会報告・論文化の実施を目指していく。　また筆者はまだ博士号を取得できていないため、2024 年度の博士号取得を目指

して、博士論文の執筆を完了させる予定である(現在 1 章～5 章まで執筆済み)。

【教育関連】

2024 年度採用教員との担当科目の兼ね合いにより、2024 年度より「流通論」の講義担当を外れ、新規に「小売マーケティング」の講義を担当することになった。そのため新規科目の講義内容の充実を図ることである。